

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会議名	瑞浪高等学校 学校運営協議会 (第2回)		
2 開催日時	令和7年11月10日 (月) 13:30~15:30		
3 開催場所	瑞浪高等学校 会議室 開催にあたり、委員による授業参観を実施した。		
4 参加者			
	会長	山田 幸男	瑞浪市教育委員会 前教育長
	委員	中島 功雄 三輪田 幸泰 伊藤 康和 吉田 知己 正木 英二 伊藤 宏支 渡邊 冬子 玉川 幸枝 萩野谷 康之	瑞浪商工会議所 会頭 瑞浪市議会議員 瑞浪市教育委員会 教育長 瑞浪市立瑞浪北中学校 校長 (欠席) 瑞浪市みずなみ未来部長 中京学院大学短期大学部 教授 (欠席) 瑞浪市立竜吟こども園 園長 (欠席) 合同会社プロトビ 代表 本校育友会長
	オブザーバー	小川 祐輝 水野 光二 石田 智久	岐阜県議会議員 瑞浪市長 (欠席) 本校同窓会長
	学校側	村橋 昌則 堀 裕邦 加藤 真澄 今井 典彦 丸谷 利幸 横井 雅代 西尾 司 瀬織 圭太 齋木 一美 土谷 清香	校長 教頭 事務長 教務部長 (教務主任) 進路支援部長 (進路指導主事) 生徒支援部長 (生徒指導主事) 保健厚生部長 (保健主事) 涉外部長 生活産業部長 (生活デザイン科主任) 教務部 (記録係)

5 本校生徒代表者（6名）との懇談について

学校運営協議会委員とオブザーバーが3名ずつ3グループに分かれ、本校生徒2名（普通科と生活デザイン科各1名）と30分間の懇談を行った。

第1グループ

（委員）（二人とも瑞浪市出身でないと聞いて）瑞浪高校にした一番の決め手は？

（生徒）ぎりぎりまで土岐紅陵高校にする予定だったが、生活デザイン科で介護等が学べることを知り、瑞浪高校に決めた。ファンションショーは見たことがない。

（生徒）パンフレットを見て、多様な進路選択ができる点で選んだ。

（委員）大人になっても地元で働く、または地元に住み続けることを考えているか。

（生徒）自然が多いところが好きなので、地元で生活したい。

（委員）瑞浪高校に入学して、見方が変わったことやお勧めのことはあるか？

（生徒）探究が楽しいこと。ねんりんピックに関わって、楽しく活動ができた。

（生徒）2年次から3つのコースに分かれ、色々なことが学べる点がよいと感じた。

（委員）瑞浪高校へ注文はないか？

（生徒）みんなインスタグラムをやっているので、それを学校の魅力のアピールとして使うといいと思う。ただ、SNSは危険な面もあるから気を付けないといけない。

第2グループ

（委員）瑞浪高校の良いところは？兄弟に勧めることはできるか

（生徒）中2の弟にも勧めている。

（生徒）先生との壁が低い。相談しやすい。兄弟にもおいでと言っている。

（委員）授業の特徴は？

（生徒）1年の音楽で、体の動かし方で変わることを教えてもらった。

（生徒）コース毎の学習、自分の場合、介護コースでの実習がためになった。

（生徒）英語は授業の進め方が難しいけど、わかると楽しい。

（委員）他には負けないぞというものはある？

（生徒）スポーツです。持続力はあります。

（生徒）エレクトーンは負けません。

（委員）自信があることを持っていることは大切で、これから必要なので続けて下さい。

第3グループ

（委員）登校時のコミュニティバスの利用状況について

（委員）娘から、利用者は瑞高生だけでなく、中京生もいることから乗れないことがあると聞いています。

（委員）瑞高への要望はないか

（生徒）プロジェクターを通して画像を見る際、天気の良い日だと後方の席からだと明るすぎ

て画像を確認することが難しい。カーテンの生地を厚手にするなどを考えて欲しい。

(委員) 生徒から見た瑞高の印象は

(生徒) 多北や多治見高校のように人は多くないため、先輩・後輩のつながりができやすい。

生活デザイン科は、2年からコース選択でき、より専門的な内容を学習できる

(委員) 地域探究の取組についての考えは

(生徒) やらされているというよりは、自分たちで何をしなければならないか考えて進めていく授業のため、自分の中では好きな授業の一つである。

先月、教育実習にきていた先生から、探究活動によって進路が定まったことを聞いた。

自分自身の進路選択を考えると、探究活動に参加できることに意義を感じている。

(委員) 中学3年の時、瑞高を選択した理由は

(生徒) 母親が瑞高卒であり、自分の興味・関心のある福祉について学ぶことができることから選択した。

(生徒) 最初は、フラワーショップを関係の夢をもっていたことから、恵那農の園芸科を考えていた。しかし、瑞高について調べた時、進路の選択肢の多さや、やりたいことを考えるきっかけを与えてくれる学校だと知り、選択した。そのおかげで、今は教師を目指すようになった。

(委員) 瑞高の特色といえば何と答えるか

(生徒) 選択肢が多い。尊敬できる先輩に会える。将来の夢（教師）になるための機会として、情報を提供してくれたり、体験授業的な内容の紹介をしてもらえる。

(生徒) 家庭クラブ活動の一環として、30年以上続く瑞浪駅の座布団製作を続けている。歴史を大切にしている学校。

5 会議の概要

(1) 今年度のこれまでの取組み（教育活動の報告）について

- 1 教務部の取組み
- 2 進路支援部の取組み
- 3 生徒支援部の取組み
- 4 保健厚生部の取組み
- 5 涉外部の取組み
- 6 生活産業部の取組み

(2) 本校への提言

意見1：水災害（瑞浪地区に多い為）に対する対応はどうなっているか。災害時（警報時）等のマニュアルは構築されているか。

意見2：不登校、転学者の状況は現在どうなっているか。生徒との交流会より「先生との距離が近い、相談しやすい環境がある」と聞いたので、これからも継続して生徒の話を聞いてあげてほしい。

意見3：インスタの活用を考えてほしい。

- 意見4：タブレットを活用して海外の人と繋がる授業を展開してほしい。
- 意見5：地域の生徒に地域の仕事を知ってほしい。
- 意見6：卒実の公開について、瑞浪市内の中学生2年生に限定されているが、他の市へ広げることを考えていなか。
- 意見7：瑞浪高生がボランティアで司会をしたり、5限目の交流会で堂々と頑張っていることを話したり、目を見て話しを聞いたりと、素晴らしい姿であった。今後、授業料の無償化等もあるので、特色をいかに広報するかが大事である。
- 意見8：探究の活動、瑞浪駅の座布団設置、新しいものと継続している活動があることがすばらしい。入学後の選択肢が多い所がよいところ。
- 意見9：地域連携プロジェクトの名称を変更してはどうか。トレンドを取り入れる。ふつうではない普通科を目指してほしい。
- 意見10：様々な不安を抱える生徒に対して、これからも心に寄り添うことをうたってほしい。
- 意見11：ホワイトボード（パワーポイント）が見にくいためカーテンを厚くできないか。
- 意見12：通学バスの本数を増やしてほしい。
- 意見13：タブレットの自費購入は決定か。

（3）会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、委員と生徒との懇談会を実施し、とても有意義で生徒の生の声を聞くことができ、生徒理解や学校理解につながったとの意見があった。

さらにこの会議を通して、瑞浪高校の強み・弱みを分析し共有できた。そして、本校の入学志望者が定員を割り込んでいる課題と向き合い、今後も本校の教育を充実させるとともに、中学生とその保護者、地域の住民に魅力を伝えていく方針について共有を図った。